

掲載元：南海日日新聞社  
日付：10月31日 (火)

# 全国障害者スポーツ大会



陸上競技は最終日の30日、4×100m混合リレーがあった。大島特別支援学校の東大悟朗(17)が鹿児島県のアンカーで出場。予期せぬ事態に昇舞われながらも機転を利かせた走りです。3走から4位でバトンを受けた東。「オーバーゾーンぎりぎりバトンをもろって、一瞬終わっただと思った。気持ちを切り替えて走り出したが、今度は隣のレーンの選手が誤って鹿児島県のレーンに侵入した。

東は冷静な判断で、その選手が走るはずだった

## 鹿児島はリレー3位入賞

東(大島特別支援学校)アンカーで力走

レーンにずれ加速。最後まで走り抜き、一つ順位を上げて3位でゴールした。東は「目の前に人がいて混乱した。一瞬頭が真っ白になった」とレースを振り返り、「最後は数秒の差で3位だったが、来年はみんなと協力して一人一人の得意分野を生かして1位を狙いたい」と力を込めた。中高と真鍮杯や新人戦に出場したことはあったが、全国の舞台は今回が初めて。東は「殺伐とした雰囲気想像して緊張していたが、いざ来てみれば、スタッフも選手もすごく温かかった」と笑顔。「結果は納得のいかなかったところもあるが、大会に出場したことでの温かみを知れて、いい学びになった」と話した。

(鹿児島新聞)



4×100m混合リレーで鹿児島県のアンカーを務めた東大悟朗(中央)＝30日、鹿児島市の白波スタジアム

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」最終日は30日、鹿児島市と霧島市の各会場で4競技があった。奄美勢は陸上女子ソフトボール投げ(40歳以上、その他走可能)で武美奈子(和泊町)が2位入賞。フライングディスクのテイスタンス男子立位(壮年、聴覚)の田中三三夫(和泊町)は4位と健闘した。4×100m混合リレーでは東大悟朗(大島特別支援学校)がアンカーで出場し、県勢は3位入賞を果たした。

## 沖永良部など2回戦ならず

全国高校サッカー 県予選が開幕

第102回全国高校サッカー選手権の県大会(県サッカー協会主催)が30日、南さつま市の楠志田サッカー場に2回戦があり、串木郡島からは初日奄美、種子島・徳之島合同、

沖永良部の3チームが通過。出場したが、ともに1回戦突破はならなかった。2日目は11月1日0奄美、大口3(0-0)、喜界合同、鹿兒島南3(1-1、2-0)

大島が登壇する。奄美勢の結果は次の1沖永良部